

神田外語大生が震災復興の歩みを海外へ発信

— 東日本大震災・原子力災害から15年、福島の「今」を世界へ —

神田外語グループ(東京都千代田区／理事長：佐野元泰)は、東日本大震災・原子力災害から15年の節目にあたり、福島の復興と学生の学びを世界に発信する「震災復興発信プロジェクト」を展開しています。本プロジェクトの一環として、2026年2月17日(火)、グローバル人材の育成を目指す神田外語大学・柴田真一ゼミの学生代表4名が、海外大学の学生に向けて英語による発信を行います。学生たちは、福島県浜通り地域でのフィールドワークや取材活動を通じて復興の歩みや地域の現状について学び、その成果として日英版震災復興新聞『福島とともに』(英題：“Together with Fukushima”)を制作しました。また、本プロジェクトの節目として、2026年1月26日(月)に福島県知事・内堀雅雄氏へ新聞を贈呈しました。今回の海外発信では、本紙とともに福島の現状や取り組み、人々の思いや挑戦を、学生の言葉で世界に伝えていくことを目指します。



▲ 柴田ゼミの学生たち(福島フィールドワーク)

▲ 日英版震災復興新聞

「震災復興発信プロジェクト」について

神田外語グループでは、2023年に福島県と包括連携協定を締結して以来、教育活動を通して福島との連携を進めています。

その一環として実施しているのが、学生主体による「震災復興発信プロジェクト」です。中心を担うのは、グローバル人材の育成を目指す神田外語大学・柴田真一ゼミの学生19名で、2025年8月には福島県浜通り地域を訪問。震災復興や新産業、特産品、地域振興など、「福島の過去・現在・未来」を自らの目で取材し、その経験と学びをもとに日英版の震災復興新聞『福島とともに』(英題：“Together with Fukushima”)を完成させました。

また、本プロジェクトの節目として、2026年1月26日(月)に福島県知事・内堀雅雄氏へ新聞をお渡しし、同プロジェクトの成果物の一つとして制作した震災復興ビールも贈呈しました。



▲ 福島県庁での贈呈式の様子

今回の海外発信について

本発信は、震災からの時間の経過とともに課題となっている風評と風化を払拭するとともに、新たに「幸せの風」を福島から世界へ広げていくことを目的として実施します。

今回は、インドネシアのブディ・ルフル大学の学生に向けて発信を行い、震災復興新聞制作やフィールドワークを通じて得た学びを共有します。

学生は、震災後の福島について、過去・現在・未来の視点から整理し、若い世代の視点から復興の現在地を伝えます。日英バイリンガル新聞制作で培った発信力を生かし、福島で出会った人々の思いや挑戦、地域の魅力や可能性を自らの言葉で発信し、復興のその先にある未来の姿を海外へ届けます。

オンライン国際交流プログラムについて

本発信は、神田外語学院が海外提携大学と連携して実施する「オンライン国際交流プログラム」の授業内で行われます。

同プログラムは、海外大学の学生と協働しながら社会課題や異文化理解について探究する教育プログラムとして実施されており、学生はオンラインワークや英語での発表を通じて国際的な視点から社会課題について考察します。



▲ 過去開催の様子

海外発信 開催概要(予定)

| | |
|----------------|---|
| 日 時 | 2026年2月17日(火)15:00~16:20 |
| 会 場 | 神田外語学院 本館6階 グリーンラボ |
| 参 加 者 (予定) | インドネシア ブディ・ルフル大学 学生 神田外語大学 震災復興プロジェクト担当教員 柴田 真一 神田外語大学 柴田真一ゼミ 学生 神田外語学院 オンライン国際交流プログラム担当教員 キーラン ジュリアン、坂崎 弥生 神田外語学院 オンライン国際交流プログラム 学生 など |
| スケジュール (予定) | 15:00~15:20 準備・オンライン入室 15:20~15:30 概要説明 15:30~16:00 オンラインプレゼンテーション 16:00~16:20 質疑応答(学生同士) ※上記のあとに、ぶら下がり取材を実施予定 |

震災復興発信プロジェクト概要

| | |
|------|---|
| 主 催 | 神田外語グループ |
| 特別協力 | 福島民報社 |
| 後 援 | 復興庁、福島県、城南信用金庫 |
| 協 力 | 共同通信社、毎日新聞出版株式会社、株式会社大鵬、株式会社広野町振興公社、 公益財団法人福島県観光物産交流協会 |

参考

【神田外語大学】<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/>

【ブディ・ルフル大学】<https://www.budiluhur.ac.id/ja/ethical-smart-campus-bahasa-indonesia/>

【福島県との包括連携協定】<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/320051/>

【震災復興発信プロジェクト(福島県フィールドワーク)】<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/432854/>

【震災復興発信プロジェクト(学園祭での福島特産品販売)】<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/448200/>

【震災復興プロジェクト(震災復興ビール仕込式)】https://www.kandagaigo.ac.jp/group_news/detail/0103_0000011047.html

【震災復興プロジェクト(福島県庁での贈呈式)】<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/459494/>

【震災復興プロジェクト(福島民報社での座談会)】<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/459511/>

【オンライン国際交流プログラム(過去開催の様子)】https://www.kandagaigo.ac.jp/group_news/detail/0103_0000009675.html

※本学から配信されるプレスリリースは SDGs に基づいた教育環境充実の一環として、UD(ユニバーサルデザイン)フォントで作成されています。

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/52433/>

報道関係の方の取材に関するお問い合わせ先

神田外語グループ グループコミュニケーション部 担当:三上山 雄亮

TEL:03-3258-5837(平日 9:30~17:00) FAX:03-5298-4123 E-mail: media@kandagaigo.ac.jp